

令和2年度第1回尾張旭市地域公共交通会議（書面開催）結果

○意見・質問票によりいただいた主な意見等は以下のとおり

●議題1 市営バスの運行状況について（報告事項）

- ・車両の故障の頻度が高く、予備車の稼働率が高い。予備車の老朽化により、故障リスクが高まっているため、更新が必要である。
- ・市にはバス停の位置の見直しを望む。バス停がスーパー、コンビニ、医院（特に整形外科）、公民館、郵便局、交番等の近くにあると「あさぴ一号」の利便性が増し、自ら運転できる手段を持たない高齢者の利用がさらに増大する。

●議題2 名古屋市営バスの旭労災病院への乗り入れについて（報告事項）

意見なし

●議題3 市営バスの車いす対応について（報告事項）

- ・車いす利用者の乗降場所の安全確保（停留所の限定等）
- ・利用者が使用する際のルールづくり（初めての方が利用しやすい仕組み）
- ・導入を予定している車両は介護タクシーと同型であり、利用者は安心して乗ることができる。予定通りにR3.2に運用が開始されることを望む。
- ・予約の仕組みについて、仮に当日の予約が不可の場合、病院受診を想定すると、帰りの時間が設定しにくい。このあたりのルール設計については、具体的なケースを想定しながら丁寧な説明をお願いしたい。

●議題4 市営バス利用料金助成（新型コロナ支援策）の実施について（報告事項）

- ・利用者、事業者支援として良い取り組みである。
- ・市営バス利用料金助成（新型コロナ支援策）の実施に関しては賛成であるが、市営バス運行に際し、3密を避ける対策、十分な換気、アルコール除菌等を徹底し、安心して乗れるバスの運行を望む。